

令和元年 第16回委員会会議録

1 開催年月日 令和元年8月5日（月）

2 開閉会時刻 開会：午前10時30分 閉会：午前10時57分

3 場 所 福岡市選挙管理委員室

4 出席委員 津田委員長，濱田委員長職務代理者，三原委員，石井委員

5 事務局職員 事務局長，選挙課長，庶務係長，選挙係長，書記2名

6 傍聴者 なし

7 議 題

（1）報告事項

法改正要望について

（2）その他

次回以降の委員会の開催予定日時

・令和元年8月20日（火）午前10時30分

・令和元年9月2日（月）午前10時30分

・令和元年9月20日（金）午前10時30分

8 議事次第（○：出席委員，▲：事務局職員）

（1）報告事項

報告事項について，事務局から資料の説明・報告を行った。

【質疑等】

○ 衆議院小選挙区における分割区については，今のままでは国政調査のたびに分割を重ねていかざるを得ないため，重点要望というよりも，中選挙区制や比例代表制なども含めて抜本的な制度改正が必要だと思う。

また，今回の参議院議員通常選挙において，合区となっている徳島と高鳥取と島根については，立候補者と関係のない県側の投票率が下がっているという結果が出ている。

地域の代表者が必要だということであれば，例えば，九州・沖縄をブロックとするなど，全国を何ブロックかに分割するという比例代表制を導入するという方法もあると思う。

現在，1票の格差が憲法違反の状態ではないと裁判所が判断しているが，いずれは憲法違反になると思う。民意が公正に反映されるためには，比例代表制が望ましいと考える。

衆議院議員選挙については，中選挙区制や比例代表制にするという議論もあると思うが，地域や政令指定都市の連合会からも抜本的な改正について意見を出す必要があると思う。

50%程度の死票が出るような選挙制度は、自分の票が生きていると感じられないため、大きな弊害になっている。投票率の高い国を見ると比例代表制となっていることが多く、民意がより正確に反映される選挙制度に変えていく必要があるのではないかと思う。
○ 今回の意見については、政令指定都市の会議において、福岡市の意見として伝えて欲しい。福岡市においては、南区と城南区が既に分割区に該当している。
○ 当面の課題としては、分割区の解消だと思うが、他の市町村や県などから抜本的な改正について意見が出ないのであれば、そのような意見を伝えて良いと思う。
人口の増加などで他区も同じ状況になる可能性があるため、選挙制度の話としては、抜本的な改正について、意見を言う必要があると思う。
○ 小選挙区の導入における課題や問題点が出てきており、また、選挙のたびに1票の格差についての裁判が行われているため、抜本的な制度改正が必要だと思う。
衆議院議員選挙は中選挙区制、参議院議員選挙は比例代表制とすることなどが合理的であるかもしれない。
今回の参議院議員通常選挙において、投票率が50%以下になった結果は深刻に受けとめる必要がある。
○ 今の選挙制度が続く限り、低投票率は避けられないと思う。
今回の参議院議員通常選挙の投票率は、戦後2番目の低投票率である。
衆議院議員選挙では、小選挙区の与党の候補者は一人であるため、政権与党での政策の論議が硬直化してきていることも、その原因の一つではないだろうか。
小選挙区制が採用されて、25年程経過しているが、公正な選挙制度になっているのかどうか私たちは見ておかないといけないと思う。
(2) その他
次回以降の委員会の開催日時は、資料記載のとおり決定した。